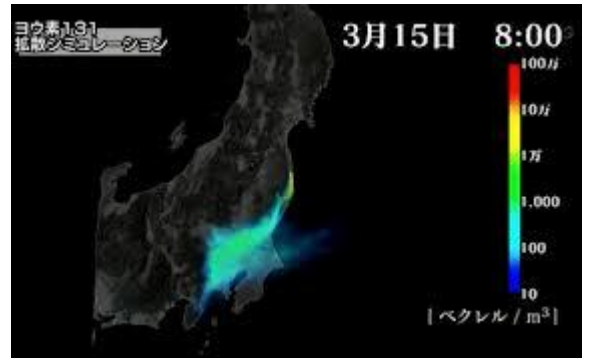




☆東日本大震災直後の2011年3月15日・21日頃、福島第一原発の水素爆発により、大量の放射性ヨウ素が茨城県内へも飛散していたことがわかりました。放射性ヨウ素は甲状腺に蓄積してがんを引き起こす恐れがあり、特に赤ちゃんや小さな子どもの将来に重大な健康被害をもたらす可能性があります。



青く見える所がヨウ素の流れの一瞬をとらえたもの。→ 城里町にもこの直前と21日頃にも高い濃度で流れてきたようです。

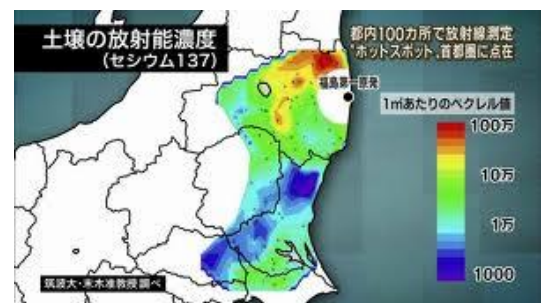
(2013. 1. 12 放送: NHK スペシャル『空白の初期被ばく～消えたヨウ素131を追う～』より)

★動画で詳しく見られます。 http://www.youtube.com/watch?v=GBU9X8F2n0E&feature=player_embedded

県内各地でも、要望に応じて公費負担で健康検査をしてくれる自治体が増えてきました。わたしたち『城里町の子ども未来を守る会』でも、城里町の新町長さんに要望書を提出しようと考えています。そのため、現在、要望書への賛同署名を集めております。

☆事故後、茨城県産の食品からも基準値を超える放射性物質が検出されました。セシウム137の半減期は約30年!! まだまださまざまな食品に汚染が確認されています。現在、学校給食の食材検査で用いられている簡易検査測定器では精度が低く、『不検出』という結果になっても、放射性物質が存在しないということを意味するわけではありません。より精密な測定のできるゲルマニウム半導体検出器を設置していただき、子どもたちのために可能な限り、放射性物質を遠ざけて内部被ばくを低下させていきましょう！

☆町内の土壌にもセシウム137はまだ残っています。現在は学校等限られた場所で行われていない放射線測定を、住居や通学路等日常において子どもが存在・移動する場所も含めて広げていただき、ホットスポットの除染を求めていきましょう！



(筑波大・末木准教授調べ)

子どもたちの健康と安全・安心を手に入れるため、ぜひ署名にご協力をお願いします!!

☆『城里町の子ども未来を守る会』は、福島第一原子力発電所事故の子どもへの影響を心配するお父さんお母さんたちが集まってできました。城里町のこどもたちを放射能汚染から守り、笑顔の未来を残してあげたい。その思いのもと、町内外のいろいろな方達と協力して活動しています。

☆HP <http://blogs.yahoo.co.jp/shirosato311>

先日、城里町長選挙の立候補者の方々へ、放射能対策についてどう考えているかを尋ねる公開質問状を送りました。その内容と各立候補者の回答も上記HPで公表しています。

☆『城里町の子ども未来を守る会』へのお問い合わせはメールでお願いします。→shirosato311@yahoo.co.jp